

審議会等議事概要

令和6年度 第2回 滝川市地域包括支援センター運営協議会 議事概要

日 時	令和6年12月24日（火曜日） ※書面会議につき全委員の委員意見確認書の到達日をもって開催日とみなすこととした。
意見聴取 委員	小西勝人委員、中村光宏委員、鈴木生委員、奥田亜貴委員、坂上智之委員、 窪之内美知代委員、國嶋隆雄委員、河田静夫委員、柴田美紀子委員
議 事	議 題 （1）令和6年4月～9月滝川市地域包括支援センター活動報告 （2）令和5年度高齢者実態調査結果報告 （3）令和6年4月～9月認知症初期集中支援チーム活動報告 提出のあった意見確認書の具申事項に対し意見書集約一覧のとおり回答する。
会議資料	資料 第2回滝川市地域包括支援センター運営協議会次第・議案資料等

令和6年度第2回滝川市地域包括支援センター運営協議会における意見書集約一覧

具申事項	回答
認知症が進んでも本人や家族などが生きがいを持って楽しく生きていけるような体制作りが必要と考えています。 今後とも状況に合わせたより充実した体制作りをお願い致します。	2024年4月1日に認知症基本法が施行され、認知症対策は国を挙げての重要な施策となっております。今後も国の動向を見据えつつ、認知症に対する偏見をなくし、認知症ご本人・ご家族の尊厳が持たれるよう、以前より取り組んできました認知症サポーター・チームオレンジによる様々な活動や各種ボランティアとの協働、認知症の方々にとって有効な事業の推進等、現在多くの皆様のご協力により実施できている取組を共生と多様性を求めながら継続してまいります。
団塊の世代が後期高齢者を迎え、地域包括支援センターの役割は益々重要になっています。 地域の高齢者の状況に目配りし、何に困っているのか、どんな解決が望まれているのか、そのために地域包括支援センターとして何ができるのか、何をしなければならぬのかを基本に運営されていることに敬意を表します。 今後、多様な形で困難を抱える高齢者が増えて来ることが予想されます。地域の現状に対して対応する職員が十分配置されるよう要望します。	高齢化の進行に加え、核家族化、親族との関係の希薄さなど、これまでは親族が担ってきただいた役割をお願いできない事案も多くなっています。 個別事例等も通じて、地域課題を的確に拾い上げ、関係機関や地域住民の皆様のご協力もいただきながら、検討・対処していく必要性を感じております。それぞれの地域の高齢者においてどのような課題があり、そのためには何が必要で、どうすれば解決できるのか一つ一つ考えながら、今後も必要な職員の確保に努めつつ、職員個々のスキルアップや情報共有等についても適宜進めていきますので、今後とも皆様のご理解・ご協力の程よろしくお願い申し上げます。